

和歌山県の地震

令和7年11月

1. 和歌山県の地震活動

震央分布図	1
概況	1
断面図	2
和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧	3
震度分布図	4

2. 地震一口メモ

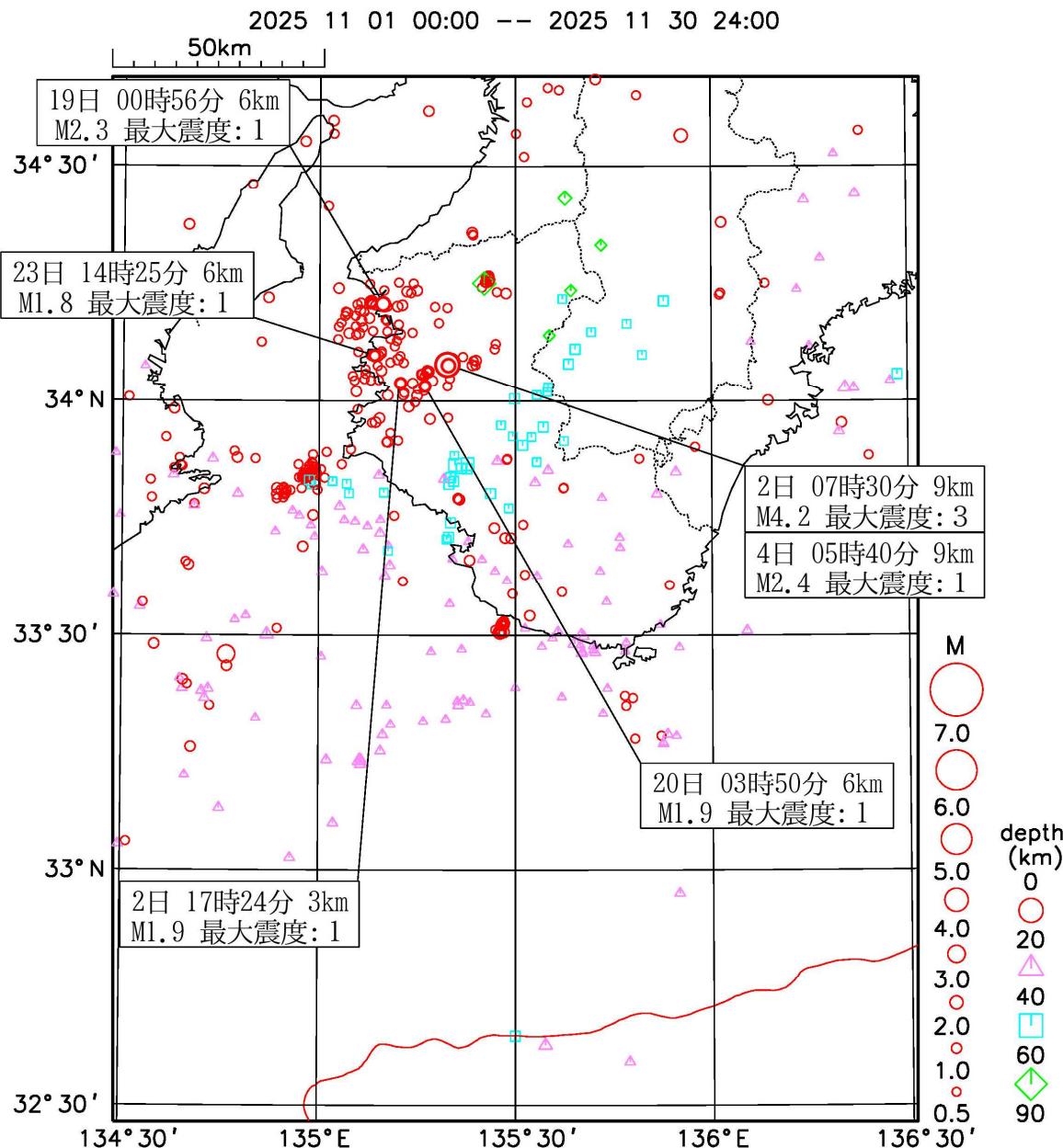
N-net 観測データの地震津波情報への活用について	6
----------------------------	---

- * この資料に使われている震源要素（北緯・東経）は、世界測地系に基づいています。
- * この資料の地震の震源要素は暫定値を使用しています。震度データを含めて再調査した後、修正することがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを使用しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- * この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図25000（行政界・海岸線）を使用しています。

和歌山地方気象台

1. 和歌山県の地震活動

【震央分布図】



震央分布図は地震が発生した場所を地図上に描画したものです。

シンボルマークの大きさで地震の規模（マグニチュード）を、シンボルマークの形と色で震源の深さを表しています。また、赤線は海溝軸（南海トラフ）の位置です。

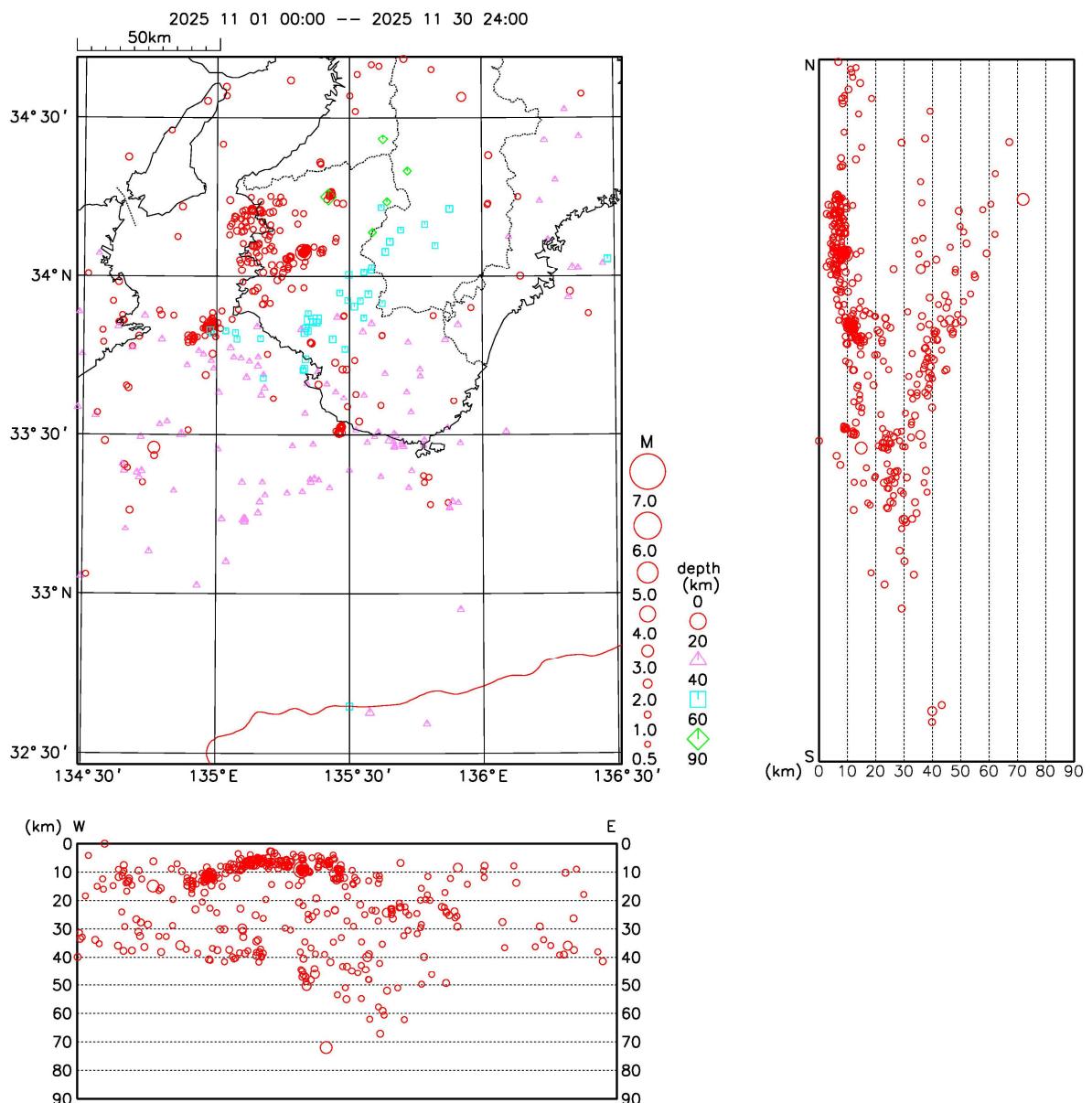
図中の吹き出しあは、和歌山県内で震度1以上を観測した地震および震央分布図内で最も規模の大きな地震を示しており、日時、深さ、マグニチュード、最大震度を記載しています（最大震度は、和歌山県内とは限りません）。

【概況】

11月の震央分布図内で震源決定した地震のうち、マグニチュード（M）2.0以上の地震は16回（前月は20回）でした。そのうち最も規模の大きかった地震は、2日07時30分 和歌山県北部の地震（M4.2、深さ9km）でした。この地震は地殻内で発生しました。

11月に和歌山県内で震度1以上を観測した地震は、6回（前月4回）でした。

【断面図】



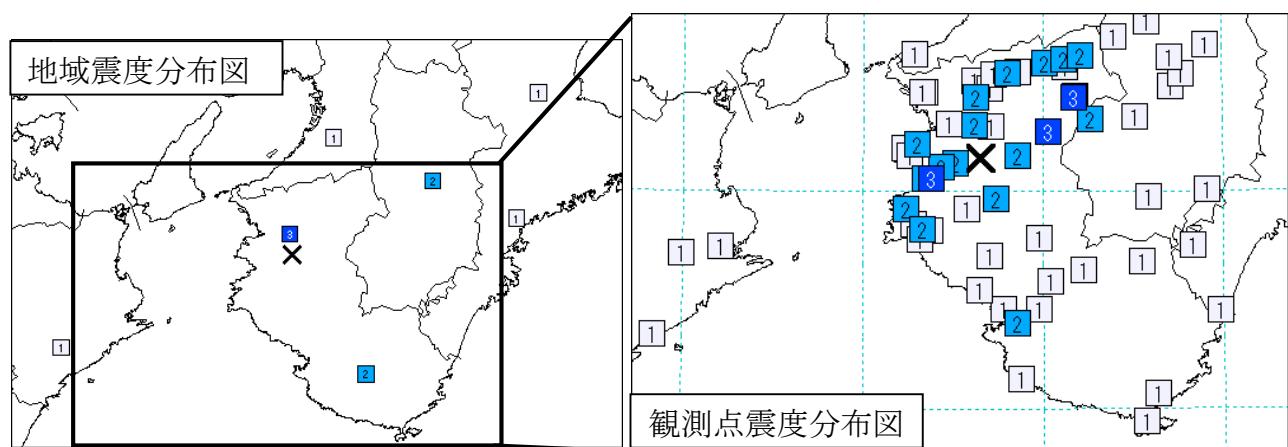
【 和歌山県で震度 1 以上を観測した地震及び震度一覧 】

発震時（年月日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
各地の震度（和歌山県内ののみ掲載）					
2025年11月02日07時30分	和歌山県北部	34° 04. 6'	N 135° 19. 5'	E 9km	M4. 2
和歌山県 震度 3 : かつらぎ町花園梁瀬*, 高野町役場*, 湯浅町青木*					
震度 2 : 海南市下津*, 橋本市東家*, 橋本市高野口町名倉*, 御坊市湯川*, かつらぎ町丁ノ町*, 高野町高野山中学校, 和歌山広川町広*, 由良町里*, 日高川町川原河*, 紀の川市粉河, 紀の川市貴志川町神戸*, 紀美野町下佐々*, 有田川町清水*, 有田川町下津野*, 有田川町中井原*, 上富田町朝来*					
震度 1 : 和歌山市男野芝丁, 和歌山市一番丁*, 海南市南赤坂*, 有田市箕島, 有田市初島町*, 御坊市薦, 九度山町九度山*, 和歌山日高町高家*, みなべ町土井, みなべ町芝*, 日高川町土生*, 日高川町高津尾*, 紀の川市那賀総合センター*, 紀の川市西大井*, 紀の川市桃山町元*, 紀美野町神野市場*, 岩出市西野*, 田辺市中辺路町近露, 田辺市中辺路町栗栖川*, 田辺市本宮町本宮*, 田辺市鮎川*, 田辺市龍神村西*, 田辺市東山*, 新宮市新宮, 白浜町日置*, 串本町串本*, 古座川町高池					
2025年11月02日17時24分	和歌山県北部	34° 02. 2'	N 135° 12. 4'	E 3km	M1. 9
和歌山県 震度 1 : 湯浅町青木*					
2025年11月04日05時40分	和歌山県北部	34° 04. 5'	N 135° 19. 7'	E 9km	M2. 4
和歌山県 震度 1 : 湯浅町青木*					
2025年11月19日00時56分	和歌山県北部	34° 12. 4'	N 135° 09. 7'	E 6km	M2. 3
和歌山県 震度 1 : 和歌山市男野芝丁, 和歌山市一番丁*					
2025年11月20日03時50分	和歌山県北部	34° 01. 9'	N 135° 16. 1'	E 6km	M1. 9
和歌山県 震度 1 : 湯浅町青木*					
2025年11月23日14時25分	和歌山県北部	34° 05. 8'	N 135° 08. 4'	E 6km	M1. 8
和歌山県 震度 1 : 海南市下津*, 有田市初島町*					

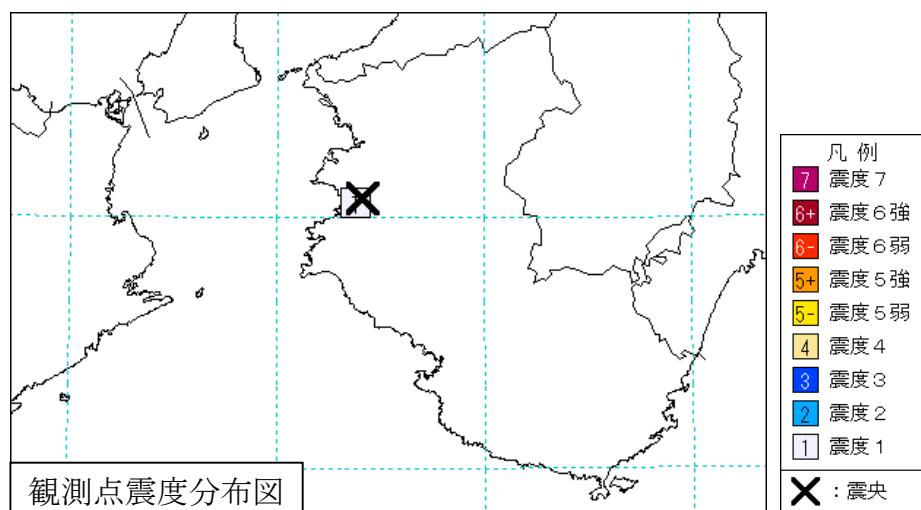
地点名の最後に*のついている地点は、和歌山県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

【震度分布図】

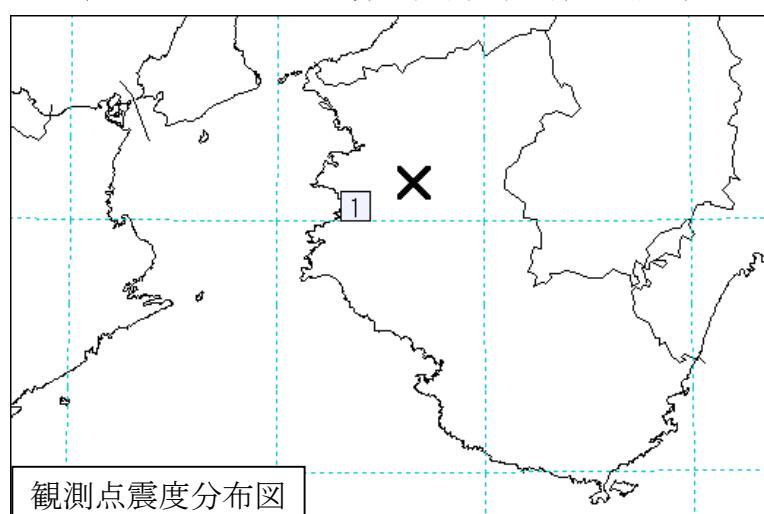
2025年11月02日07時30分 和歌山県北部の地震（深さ9km、M4.2）



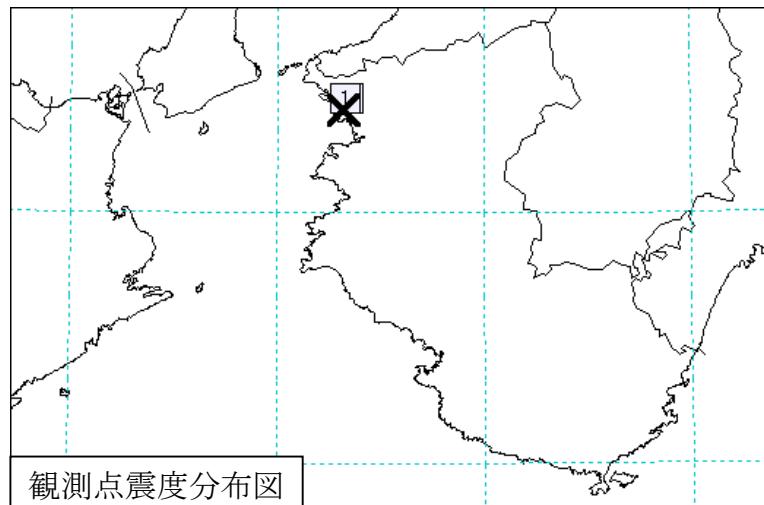
2025年11月02日17時24分 和歌山県北部の地震（深さ3km、M1.9）



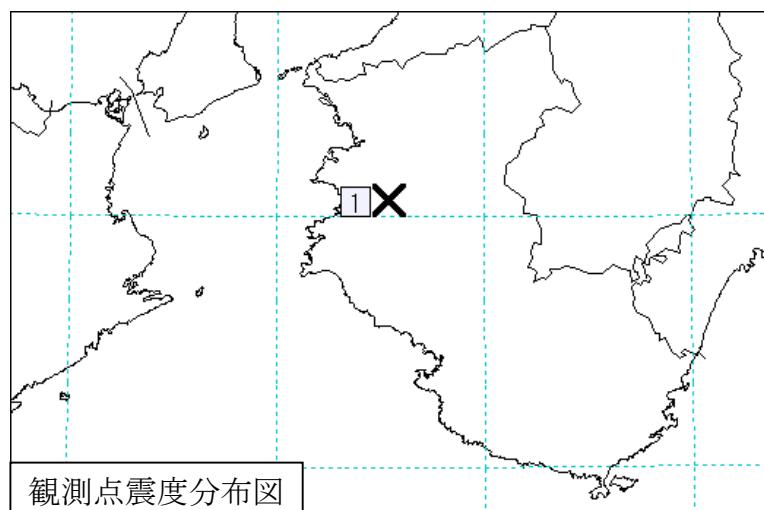
2025年11月04日05時40分 和歌山県北部の地震（深さ9km、M2.4）



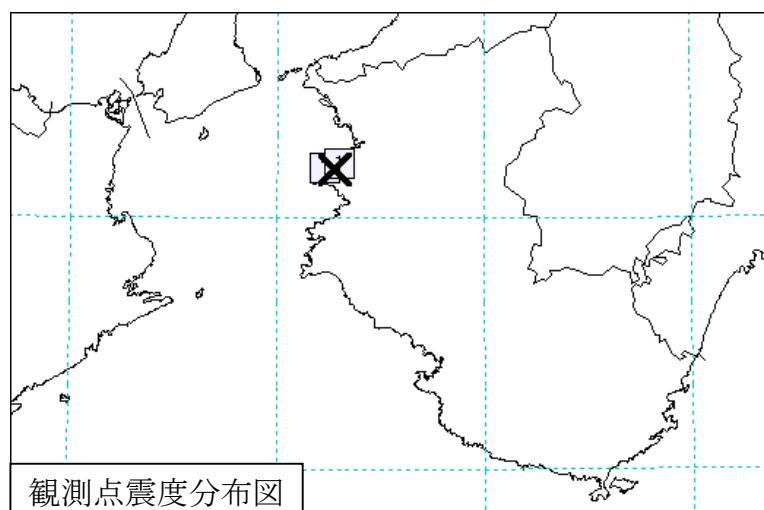
2025年11月19日00時56分 和歌山県北部の地震（深さ6km、M2.3）



2025年11月20日03時50分 和歌山県北部の地震（深さ6km、M1.9）



2025年11月23日14時25分 和歌山県北部の地震（深さ6km、M1.8）



2. 地震一口メモ

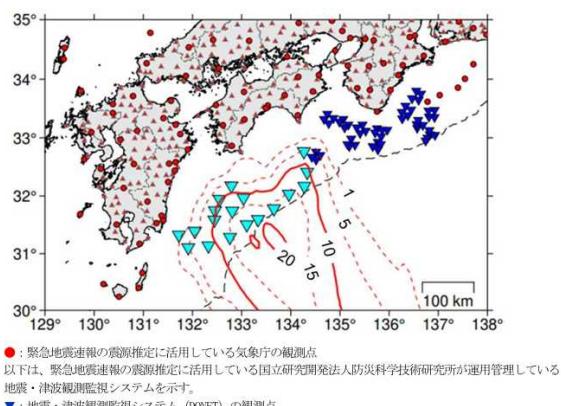
N-net観測データの地震津波情報への活用について

国立研究開発法人防災科学技術研究所は、南海トラフ地震の想定震源域の西側である高知県沖から日向灘にかけて、N-net（南海トラフ海底地震津波観測網）を整備しました。

今般、気象庁では「N-net 沖合システム」の地震計や「N-net 沿岸システム」の津波観測データの品質確認等を順次実施し、準備が整ったことから、令和7年10月15日より緊急地震速報への活用を開始し、同年11月20日からは津波情報等への活用を開始しました。なお、「N-net 沖合システム」の津波情報等への活用については、令和6年11月21日に実施済で、本紙の令和6年11月号でも紹介していますので参照してください。

効果として、緊急地震速報への活用については、四国沖から日向灘にかけて地震が発生した場合、緊急地震速報（警報）の発表が、最大で約20秒まるることが期待されます。

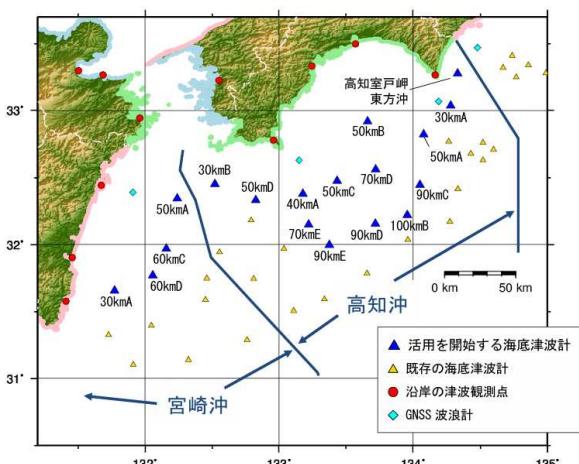
また、津波情報への活用については、津波の検知が最大で約10分早くなるなど、津波警報等の更新及び津波情報の発表の迅速化や精度向上が図られます。さらに、「N-net 沖合システム」と「N-net 沿岸システム」全体を活用することにより、津波の検知は最大で約20分早まることが期待されます。



●：緊急地震速報の震源推定に活用している気象庁の観測点
以下は、緊急地震速報の震源推定に活用している国立研究開発法人防災科学技術研究所が運用管理している地震・津波観測監視システムを示す。
▼：地震・津波観測監視システム（OONET）の観測点
▲：高感度地震観測網（Hi-net）の観測点
▽：今回活用を開始する南海トラフ海底地震津波観測網（N-net）「沖合システム」の観測点

図中の値は、その地点で地震が発生した場合に、緊急地震速報（警報）の発表が、どの程度早まるかを計算した理論上の最大値（秒）を示す。

図1 「N-net 沖合システム」の観測データの活用による緊急地震速報（警報）の迅速化



※活用を開始する海底津波計の地点名称は「○○沖」を省略して記載しています。

図2 津波情報等への活用を開始する海底津波計の分布図

N-net(南海トラフ海底地震津波観測網)

N-net: Nankai Trough Seafloor Observation Network for Earthquakes and Tsunamis

国立研究開発法人防災科学技術研究所が、南海トラフ地震発生時の被害軽減や防災科学技術の発展に貢献することを目的として、南海トラフ地震の想定震源域のうち、それまで観測網が設置されていなかった西側（高知県沖から日向灘）の海底に整備した、地震計と水圧計を備えた地震・津波観測網です。この観測網は、令和6年に整備が完了した「沖合システム」と、令和7年6月に整備が完了した「沿岸システム」から構成されています。

N-net紹介ホームページ(防災科学技術研究所)

<https://www.seafloor.bosai.go.jp/N-net/>